

東日本大震災復興支援活動内容一覧

【震災直後：2011年度シーズンの主な実施内容】

1. 「がんばろう！日本」を復興支援活動のスローガンとする。
 - ・2015年シーズンまで、12球団ヘルメットに「がんばろう！日本」シールを掲出。
 - ・チャリティー販売を実施。（販売価格200円、うち100円を寄付）。
 - 2015販売終了まで、26,789枚を販売し、総額2,678,900円を寄付。
2. 12球団と日本野球機構の共同で日本赤十字社へ義援金1億円を寄付。
3. 各球場に募金箱を設置。
 - ・日本生命セ・パ交流戦が終了した6月19日までの募金総額5,315万7,600円。
4. 「メッセージボール（選手直筆のサインとメッセージを書き入れた試合使用球）」を被災者らへプレゼント。
5. チャリティー試合の実施：2011年4月2日・3日に行われたオープン戦を「プロ野球12球団チャリティーマッチー東日本大震災復興支援試合ー」として開催。収益金：7,041万4,006円・義援金：3,355万3,841円（合計1億396万7,847円）を主催球団を通じて、震災の被災者・被災地へ寄付。

【オールスターゲームを通しての支援内容】

1. 2011年～2013年の3年間、宮城（Kスタ宮城）、岩手（岩手県営野球場）、福島（いわきグリーンスタジアム）の3県でオールスターゲームを開催。
 - ・上記各試合に地元の小学生から高校生までの球児約3,000人を招待。
2. 2011年～2021年（2020年はオールスターゲーム中止のため実施せず）まで出場選手・監督・コーチ・審判員の着用ユニホームでチャリティーオークションを実施。累計1億8,699万1,907円を3県へ寄付。
3. 2014年～2021年までオールスターゲーム試合開催地に避難されている方を球場へ招待（2020年は開催なし）。
4. 2021年は震災から10年経った宮城（楽天生命パーク）での開催となり、復興支援をテーマとしたセレモニーおよびイベントを実施。

【日本代表戦を通しての支援内容】

1. 2012年3月10日 東京ドームにて「東日本大震災復興支援ベースボールマッチ supported by KONAMI」を開催。
 - ・対戦カード：社会人選抜ー大学選抜、侍ジャパンーCPBL選抜
 - ・宮城、岩手、福島県から関東地方に避難していた被災者の方々を招待。3,758名が来場。
 - ・大会の収益などから義援金総額1億円を日本赤十字社・震災遺児支援活動団体へ寄付。（以下、義援金内訳）
 - (1)「東日本大震災復興支援ベースボールマッチ」の収益の一部8,654万2,228円。

- (2)「侍ジャパン・プライドピン」 売上金の一部 77万7,000円。
- (3)「侍ジャパン 着用ユニホーム・チャリティーオークション」 1,268万772円。
2. 2015年3月10日、11日 東京ドームにて開催した、
「ひかりTV 4K GLOBAL BASEBALL MATCH 2015 侍ジャパン vs 欧州代表」で
下記取り組みを実施。
- (1) 東京都に避難していた被災者の方々を招待。2日間合計174名が来場。
- (2)「侍ジャパン 着用ユニホーム・チャリティーオークション」 374万6,655円を震災
遺児支援活動団体へ寄付。
- (3) 小久保監督からのスピーチ、黙とう、募金活動、被災者の方が始球式実施。
3. 2016年3月6日・7日 ナゴヤドーム、京セラドームで開催した「日本通運 presents 侍
ジャパン強化試合 日本 vs チャイニーズ・タイペイ」にて、熊崎コミッショナー（当
時）からのスピーチ、黙とう、募金活動を実施（約100万円を震災遺児支援活動団体へ
寄付）。

【岩手県での支援内容】

- ・2013年～2017年までは地元行政・野球協会と相談し、野球を行うために必要な物品の提供と併せて野球教室を開催。2018年以降は、OB選手・12月には岩手県内出身の現役選手に協力いただき、学校訪問を実施。「夢に向かって努力することの大切さ」をテーマに講話を実施など、その時々、被災地の要望に応じた活動を行った。

実施日	場所	規模	内容
2013年7月6日	大船渡市	野球教室160人	グラウンドフェンス300台
2013年7月7日	陸前高田市	野球教室120人	投光器12台
2014年11月24日	大槌町	野球教室97人	投光器4台、プレハブ1基
2016年9月19日	釜石市	野球教室224人 審判講習会	内外野フェンス38枚 内野芝張替・人工芝 外野フェンスラバーマット
2017年7月29日	宮古市	野球教室142人 審判講習会	グラウンド整備車1台
2018年6月22、23日	久慈市・野田村	学校訪問 野球教室220人	OB選手より講話 「夢に向かって努力することの大切さ」
2018年 12月12～14日	普代村・岩泉町 ・田野畑村	学校訪問	OB・現役選手より講話 「夢に向かって努力することの大切さ」
2019年7月5、6日	陸前高田市	学校訪問 野球教室203人	OB選手より講話 「夢に向かって努力することの大切さ」
2019年12月12、13日	住田町 ・大船渡市	学校訪問	OB・現役選手より講話 「夢に向かって努力することの大切さ」

【福島県での支援内容】

- ・2012年以降、2019年まで「ベースボールフェスタ in 福島」として開催地の小学生・保護者の方々とOB・現役選手と一緒に野球もしくは運動するイベントを実施。(併せて、一時期には炊き出しなども行った)。
- ・2018年からは「制限地域」を解除されたばかりの浪江町の名物行事「十日市祭」に参加し、盛り上げに協力。地元を離れて避難している方々や地域に復興状況のPRを支援。

実施日	場所・規模	内容
2012年 8月4、5日	郡山市開成山球場 来場者2日間合計 10,164人	8/4 NPB OB オールスター選抜対福島選抜 (軟式：小中学生・社会人選抜) キャッチボールクラシック、コンサート、サイン会、花火 8/5 NPB12 球団選抜対オール福島 (大学・社会人選抜) 地元硬式野球チームを対象に野球教室
2013年8月14日	川内村	野球教室、OB オールスター選抜と地元チームの試合
2013年8月31日	南相馬市約100人	南相馬市、取手市の交流大会で野球教室を実施
2014年12月6日	福島市 299人	「ベースボールフェスタ in 福島」プロ野球選手と遊ぼう と題して、原発事故の影響で外遊びが減り運動不足気味となっていた地元小学生と12球団から選手1~2名、マスコットが参加し、一緒に体育館で運動会形式イベントおよび炊き出しによる昼食の交流会を実施
2015年12月5日	会津若松市 150人	
2016年12月10日	いわき市 372人	
2017年12月9日	南相馬市 242人	
2018年11月24、 25日	浪江町 参加者約 3,000人	
2019年11月23、 24日	浪江町 参加者約 3,500人	

【2021年の寄贈事業】

・2021年には、岩手・宮城・福島3県の学童(各県軟式野球連盟)、中学校体育連盟軟式野球加盟部、高等学校野球連盟加盟全チームへのボールケース寄贈事業を展開した。仙台で行われたマイナビオールスターゲーム第二戦で宮城県の学童チームを招待し、寄贈セレモニーを実施。また、上記3県高等学校野球連盟の夏の選手権県大会開会式において、ボールケースを寄贈した(合計1173チームへ寄贈。内訳：学童449チーム、中体連チーム490チーム、高野連234チーム)。

【防災を呼びかける活動】

・2018年以降、「防災・減災」を呼びかける活動を実施。政府が「防災週間」と定める9月第1週に開催される公式戦で「備えよう！防災デー」を実施。選手・マスコットが出演する防災の備えを呼びかけるPR動画を作成し球場ビジョンやSNSに投稿、来場者に対してポケット防災マニュアルなど実用性のあるものを配布など、防災・減災の呼びかけを実施。

以上